



## 本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科においてデジタルを利活用した授業を展開し、生徒が自ら学ぶ方法を選んだり、一人または複数で課題を解決したりできる環境を作り支援する。</li> <li>○対話的で協働的な学習を単元や教材に応じて実施する。</li> <li>○学校経営協議会と協力し、定期検査前の放課後や土曜日、長期休業中に学習教室を開く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業時数の確保を念頭において教育計画を立て、実践する。</li> <li>○時間割の編成を工夫して、教科の偏りのない授業実践を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別活動の充実を踏まえた全教員の授業力向上を目指し、共通実践、指導の工夫についての研修を重ねる。</li> <li>○対話的で協働的な学習活動と課題解決学習が授業で実践できるように有効なツールの研修を重ねる。</li> <li>○各教科の部会を充実させ、情報を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間指導計画を基礎にして、より分かりやすく、生徒のやる気を引き出す評価の在り方を探っていく。そのため、生徒や保護者による授業評価や学校評価を行い、教育活動に反映させていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校経営協議会と連携・協力し、家庭学習及び家庭教育を支援する。</li> <li>○学校経営協議会と連携・協力し、進路学習等で地域の教育力の援助を求める。</li> </ul>